

【受講した感想 & お礼の言葉】

地土或のネットワークを作っていく過程が
情報をもつには何度も置んで信頼関係構築が何州かな

今回は、すてきな講話 ありがとうございます

本来の方が来られなくなった中でも資料を用意してとても丁寧にお話して下さって本当にありがとうございます

私は「記憶を記事に残すことができる」ということかとても印象に残っています。テレビのニュースはその時しか

見られないけれど、新聞は残るし、お話しの中であつたように記事の写真にはたくさん情報が入り込め

られているので記事を見たときに記憶がよみがえります。記者というお仕事はやっぱり少し怖いイメージ

があつたのですが、相手が何を伝えたいのかをよく考えて、正確な情報を届けるようにしていると聞いて、イ

メージが大きく変わりました。私もそういうことはどんな場合においても大切なことだと思います。なので、これから

心がけていきます。

★提出×切…9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

私自身、マスコミ関係の仕事にハマりたいと思っていたため、今回お話を聞けて良かったです。その中でも一番印象に残っているのは、新聞記者のやりかたで、「各社1枚で誰にでも会える」ということです。私は興味のあることへの取材です。実際にその人に会えるのは新聞記者、マスコミ関係の仕事の強みだと思えました。私が就職に向けていたことが自分で分析できることが大切だともわかりました。その自己分析をPRとして発信できる良いことがあったため、今の高校生の時点でPRできることを増やしてあげたいと思います。私はお笑いネタの記事は見たいが、紙の新聞とネットの両方のメリットを併せて情報を人々に伝えることが今後の情報伝達に大切だとも思いました。人間関係が大切なお仕事もあると知り、今のうちからコミュニケーション能力を伸ばしたいと思えました。今回は私の興味のあるマスコミの話をお聞きありがとうございました。今日の講座を聞いてとても興味を持ちました。今、私自身にも芽生えることは勉強をしっかりと積んでおくことが大切だと改めて感じました。

★提出の切…9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

今日は、お忙しいのに僕たちのために講座をしていただきありがとうございました。新聞記者の仕事はブランクと勝手に思っていたけど、今回の授業を受けてやりがいがある、とても楽しそうな仕事だなと思いました。新聞は写真だけでなく、たくさん人の情報がつまっているという事を知って驚いたので、帰って家にある新聞を読むかと思いました。これからは、小森さんの言っていた自己分析をしっかりと自分のしたい仕事ができるようにがんばろうと思いました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

講義の中で一番印象に残ったことは自分の意思に添って事実を歪曲した記事を書いてはいけないということです。大勢の人の興味を引きたい、この筋書きのほうがおもしろいという気持ちを捨てどんな時も相手の気持ちに寄り添い、1つの立場だけでなく様々な立場から冷静に客観視する姿勢が大切だと思った。

私も学校生活において自己中心的にならずいつも友達の立場に立って考えるよう努力していきたい。また、就活のプロセスとして自己分析が大切なことを知り、勉強や部活だけでなくプログレス探究Aを受講したり English Challenge に参加したり、様々な経験を積み自分の行動から性格・特技などを見つけて出してアピールポイントをまとめることが大切だと分かった。毎日忙しさが高いの今から積極的に様々な学校行事に参加してPRに役立てたいと思った。

高校生のうちからメリハリをつけたり、友達をたくさん作って人脈を増やすことを目標に1日1日頑張りたい。私も小森さんのように文章をまとめられるよう練習していきたい。今日は講義いただきありがとうございます。"どんな時も情報の本質をとらえようとする小森さんは素敵でした。"

【受講した感想 & お礼の言葉】

今朝ポストを見たので、いる新聞や夕方にポストに入っている新聞は、いついれられているんだろうかなと思っていました。また、投稿にも仕事して、すごく大変な仕事ではないかなと思いました。しかし、小森さんのお話を聞いて、自分の考えは変わりました。自分の趣味のこを取材できたり、取材のアイディアは、いつでもいい、というのはすごく楽しそうだなと思いました。最近ニュースがインターネットで上げられるようになっていて、とても見やすく早くまとめられていて、いろいろも使っていきたいなと思っています。

今日は、講話を聞いたばかりですが、ありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】 正確な情報を伝える事が大切

今回は講座を開いてくださり、ありがとうございました。
神戸新聞は昔と違って、最近はとらなくなってしまふということが多く、それでも多くの人に新聞を読んでもらうために、ネットなどで新聞を書いていると知り驚きました。また、記者の仕事は大変な事が多いと思っていたけれど、実際にはある程度自由に記事が書けたりととてもやりがいのある仕事だと感じました。記者と会える機会は少ないので、今回話が聞けてとても良かったです。ありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】 正しい情報かの判断が大切

今はほくたちの仕事について知る学習のために忙しい中講座をしてくださり本当にありがとうございました。ほくはよくスポーツの記事を見たりします。ほくはあまり長い文を書くことは得意ではありません。だからいつも新聞を読んでいて新聞記者の方々は文を書いたり、読む人の目を引きつける写真を撮るのが上手ですごいと思います。そういう書く力だけでなく、取材をする相手とのコミュニケーション能力がすごいと思います。ただ相手の言葉を聞いたまま発信するのではなく、その相手が読者にどう印象を与えるかなども気にしながら書かないといけなくて大変なと思いました。コロナの影響で直接取材がとれない時でもオンラインの取材で距離感が難しい中なので苦労されているな〜と改めて思いました。この講座を通して「多刺棘でいろんな人に会える」というのにとても引かれました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

僕がこの講演を受講しようと思ったのは、もともと僕は文章を書くのが好きで、文系の職業の話も聴きたいと思ったからです。僕はまだ具体的な進路が決まっていなかったので、仕事をえらんだのは大学に入ってからと聞いてほっとしました。とりあえず幅広く選択肢を増やすために一生懸命勉強しようと思いました。講演の前に九つの要点をまとめたプリントを配っていたので、今なんの話をしてるのかがとても分かりやすく、内容がおもしろかったです。分かりやすく言葉で説明していただいたことで、思ったよりホワイトだったとか、実はおもしろく知らない新聞記者という仕事のことも分かりました。大変な仕事だけど大変だからこそそのやりかたの面白いところを学びました。今日は講演をしていただきありがとうございました。

【文壇に恋心 & 恋作の言葉】

僕は小森さんの言話を聞くまでは新聞メディアのイ仕事は制限が厳しかったり、ウソの仕事なのかと思っていました。でも小森さんの言話を聞いて妻くカリガいのある仕事だと感じました。

取材は地方のものを言周べて新聞に載るだけではなく、自分が取材したいものが取材できるのだなと思いました。僕は初めは決められたことを取材してくるのだと思っていたので驚きました。ネットに自分の言周べたニュースカッターなどに転載されるということでは何百人の人にも見てもらえるなんて凄いなと思いました。そして事件などのニュースになるようなことの最前線に替り込み情報を取ってくる仕事は機械が得意なことではないのでこれから必要になってくる仕事だと思います。

そして新聞は今までの戦争や歴史などの過去のことを残すために必要な仕事なんだなという風に改めて思いました。本日は遠くからお越し頂きましてありがとうございます。

【支那の思想と文化の発展】

まず、この忙しい母事に、わざわざ、学校に来てくれた「サリ
ありがとう」があります。最近には本当に、電車の中で「新聞
を読む人がいなくなったり、新聞社自体も大変だ」と思っ
ますが、これから、記者として頑張ってくた「サリ」。

自分は今回の話を聞くと、新聞記者は、夜遅くまで、記事
を書いたりしていらっしゃる、大変で「ブラックな職業だ」と思っ
ていました。小森さんのお話を聞いて、印象が変りました。

最近では、マスコミは、偏向報道が多いので、非常に難しく
しますが、ネットの情報は「フェイクニュース」が多いので、容易に信じる
事ができたりして「サリ」るので、今回の話を聞いて、新
聞記者の人たちは、自分たちの足で「ネタをかき集めている」
ので、その点はすごいと思いました。

今日は珍うなお話ありかとうござりました。今回の講座を
受けて、自分か今何をすればいいのか、よく考えるき、かけになりま
した。自分はなりたのものが、一樣ある感して、やりたのことにくつが
あるので、今何をすればいいのかよくわかりました。

新聞記者にはなろうとは今は思。ていなりけと、自分か好
きな分野を調べて、いろんな人に発信できるのは、とても、みか
的でした。他にも何かみかを感じて職業を深していき
たいです。自分は文章をかくの好きなので、記者を
少し調べてたいと思います。今日の話をきいて、また、直路
か決まていなくても、勉強はやりつづけたいとりけな
いと思いたしました。今は、そこまてしてないから、これから
はかりしていこうと思いたしました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

新聞記者という仕事はやりがいがあるもの
なのだとわかりました。地方新聞でありながら、
全国にもつながっているというインターネットが
普及した今だからこそその特徴もあるとわかりました。
紙に載せたものもインターネット上に載る、こんなに
全国的に社会貢献できる仕事も珍しいと思いました。
紙面用の文章とインターネット用の文章は少し変えて
いるのか、疑問に思いました。いかに興味深くかつ
正しく情報を伝えられるかというのも大切にされて
いて、小森さんをはじめとする記者たちの苦勞の上に
今の情報のあふれた世界があると感じました。社会を
支えられる仕事だと思いました。

小森さんが話されたことは、これからの自分の生活で生きて
くると思っています。本当に、ありがとうございました。

【文壇の志士 & 読者の言葉】
今日のお話しを聞いて、新聞記者という仕事に興味を持ちました。自分の興味のあることを自分でスケジュールをくんで取材できるというところがメディア関係の仕事からではたじと思いきり、その中でも紙でもネットでも記事を読んでもらえる新聞記者の仕事が良いなと感じました。私は宝塚歌劇が好きなので、神戸新聞の毎日載っているインタビュー記事を楽しみにしていて、トに楽しみにしてもらえたり、喜んでもらえる仕事で本当に好きだじなと思いきり。今回はお話しを聞かせて下さりありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

名指一枚で、いろんな人に
会える
人間関係
人好き人向い
新情報は自分が世に出る

メディア関係の仕事について知りたいと思っ、こちらの講話を選びました。最近、新聞と
取っている人が減っているということは、以前にも聞いたことがあって、その分は、ネットの記事
や広告でカバーされていることばかりでした。私自身、メディアは大変というイメージと
持っていたけれど、自分の好きなこと、興味のあつたことをほり下げて発信するおもしろさや
やりがいがあることを知り、大変なこともあると思うけれど、すてきな仕事だと思いました。
地方新聞として、戦争のような体験した人が、とんとなくなってしまうようなものは、探して、
話を聞いて、記録として残すという大切なことだなと思いました。さまざまな人に会ったり、
とくにネットだと全国の人に読んでもらえるので、自分が調べて思ったこととその表現でも
うまい、いいところも、たくさんあると知ることができました。一番おもしろいことは、いかに
写真に情報をつめこむか考えられていることでも、普段は、なれなく見ていたけれど、
あることで、伝わりやすい、そこまで考えられているんだと思いました。コロナで、オンライン
の取材になると、対面よりも距離感があり、伝わりにくいということばかりでした。
そんな時でも、正確な情報を伝えるために、相手によりよく考えられていることを
知りました。一般の声を大切にしたり、下調べをしたり、工夫されているなと思いました。
新情報を自分が世に出せるというのが、いいこと★提出の切...9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

情報量の圧倒的増加
↓
取捨選択が大切
「正しい想」ではなく「正しい情報」ぞ!

本日はお忙しい中、お話をしていただきありがとうございました。

私は、今の時点では理系に進もうと考えているのですが、情報工学を中心に学びたいと考えているため、情報というものを理系分野の知識としてだけで終わらせるのではなく、それを取材で手に入れ、受け手のことを考えて発信するという重要な面も見落としてはいけないと感じ、今回の講義を受講しました。

最初の方におっしゃっていたことで、三田市の内容を分野問わず取材しておられるという点が、記事の分野ごとに全て分担して行っているものだと思っていたため、驚きました。

また、地方新聞のよさである地域の人々との広いつながり、人脈は、SNSの利用増加やコロナ禍での影響を受ける現在でも、地域を支える大切な柱なのだと思います。今回のお話を聞いて、これからは制作側の立場での工夫なども考えながら新聞、メディアを見るようにしたと感じました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

今回の受講を終えて、記者という仕事にとっても興味を持ち、記者になりたいと思いました。自分は、野球をやっていて、スポーツにとっても興味が
あります。自分で取材のスケジュールを立てることができて、好きなものを
取材できると知り、そこに魅力を感じました。そして、有名な人に会えたり、
現地に行ったりすることで感動や臨場感を味わえることもあ
くおもしろそうだと思いました。もともと新聞記者になりたいと思
っていたけれど、具体的な仕事の内容や、流れを知らなかった。
でも今回の講座でよりやりたいという気持ちが増しました。
記事の本質をつかんで伝えるために、おもしろい記事をかいために、
全国へ発信する記事をかいたためにもコツコツ地道に勉強して、
たくさん色々な経馬をしなければいけないと思いました。
そして、語彙力を上げるためにもたくさん本を読まなければ
ならないと思いました。記者のことについてくわしく教えていた
だき、ありがとうございます。

【受講した感想 & お礼の言葉】

今日受講を聞いて、新聞記者の方々の大変な事ややりかたの
ものが分かりました。自分で取材することと自分が取材したことか全国
に広まっていく事のたのしさややりかたを感じるといふことが分かり
そうゆう事は、可くうれいいれいれと思うので興味を持ちました。事件や
事故といった悲惨な現場を見ることもあるといふことも分かりました。

Yahoo News や Twitter のニュースなどネットのニュースは、元々新聞
記者の方々が調べられており、その情報をネットワークに乗せたりすること
があることがおとろまれました。その記事などを集めてくる原点は記者
の方々にあるのと記者という仕事はたぐやびいものたと思ひました。
今の現代の人は江戸時代の時10年で収集できるほどの情報を1日で
見ることが出来るほど、色々な所に情報が飛びかたててその情報を
正しいことが判断出来る×××、リテラシーというものが必量たよ
いふことがかたて良かたて可。今日は説明していただいたまありか
いふこと思ひました。可く参考にいたしました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

僕の家は、新聞を取ってなく、あまり新聞と関わりが
ある人生ではなかったけど、新聞記者の仕事の流れ
で、あたり、心にかけていることややりがいを感じる
時など聞けて、とても興味味がわいたし、尊敬できる
仕事だなと思いました。僕はサッカーが女子まで、
スポーツのジャンルにしたら色々なサッカー選手に取材でき
るのと考えると、良い職業だなと思いました。新聞では、
取材対象の人に「言わせる取材」は良くなくて、走りこっている
事象の本質を言葉み取って、正しい情報を報いなければ
ならないと知った。でもそれは、一人間が記事を書い
てるから、自分の偏見だったり書きたくないこともあまら
しれないから、そこは本当に素晴らしい部分だなと思ってる
僕はまた、将来のやりたいこととか全く決まてないけど、
女子マスをやり終えられる仕事に就きたいと思いました。
今日一日ありがとうございました。★提出区切…9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

最初、新聞記者はどんな仕事をしているのか全然知りませんでした。小森さんの話を聞いて仕事内容ややりがいについて学ぶことができました。小森さんの話によると取材は何でもできると知り、1日に2,3件取材することがあるそうです。様々な記者がいる中で担当記者もいることにびっくりしました。警察への事件についての取材は朝から夜まで聞きに行くと言っていたので、体力的に大変だと思いました。今、コロナなどがあって直接聞きに行けなくてオンライン取材が増えていきました。直接話すのと違って距離感間が難しいと言っていました。そのときに気をつけていることとして、取材するスポーツ選手や芸能人に取材する人が言わせたいことを尺のために言わせることはしてはいけないと学びました。相手の言葉の重みを理解して被災者の人たちなどの言葉を受け止めてあげることが大七かです。小森さんは、取材で直接現場に行くときにその現場の写真を撮ってくると言っていて最初は写真も上手く撮れていなく初心者の方が多いそうです。小森さんの話を聞いて新聞記者の魅力が知れました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

本日はお急がしいと三兵庫県立三田祥雲館高等学校
様へ足を運び、講師としてお話を伺ってきました。さり
言成にありがとうございました。新聞記者は表に出ず
私たちが見たいところでは仕事をしていいるイメージがあり
どんで、どんな仕事もどのようにしているのかまったく知ら
なかったため、今回小森さんのお話をきけたことは
とても貴重な経験でした。自分はまだ将来、就き
たい職業や夢などが付いたため、小森さんの
ように少しでも興味のある学問、学科に進学
して、下学年中にやりた職業をみつけて、就
職活動に取り組みたいと思います。今回の
小森さんのお話を参考にして、大学の進学先、就職
先を決めていこうと思われました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

ぼくは今日将来の夢が決まっていた状態でお話を聞かせていただきました。しかし、小森さんも高校生の時は同じような状態だったという事もあり、とても参考にできるお話を聞かせていただきました。お話を聞いている中で、記者という仕事はぼくが思っているよりも単純ではおこなっていませんでした。例えば、取材は1日1件ほどだと思っていたのが2~3件であったり、取材をしたい相手の家に行き、早朝から待っていたりなど想像していた以上に大変な仕事であることが分かりました。また、記事を作成する際は、多くの人に記事を見せもらうために、写真などの様々な工夫をしていることも今日で知ることができたので次から新聞を見るときは注目してみようと思いました。今日のお話は将来について考えるとてもいい経験になったと思います。